



えいのまる

令和6年3学期まとめの時期

早いもので、令和5年度も残り一か月となりました。今後は学年の学習や生活上の振り返りとまとめに向かって頑張ってもらいたいと思います。

登山家のエドモンド・ヒラリー氏は「大事なのは、山に登れた達成感だけではなく、それとともに生まれる新たな自分との出会いだ」と言いました。登山も人生も重なるところが多くあります。

実際、子どもたちは新しい学年という大きな山を登り成長しました。しかし、大事なのは、1年間子ども自身が目標をもって努力を続け、登頂を果たした自分自身の成長に気づくことです。

残り1か月のラストスパートが始まります。応援と励ましをお願いいたします。

◎ 学習参観 お礼

3日間に分けた学習参観ありがとうございました。

子どもたちが自分なりの一年間の学習や行事を振り返り、個人や集団の取組の成果を発表する姿に感動しました。

私が嬉しかったのは、進行も含め、**子ども自身が考え発表する姿、**パワポなどICTを巧みに使った分かりやすい表現、クイズなども取り入れた見る人を引き付ける工夫、さらに**聞く側の子どもたちが発表者を盛り上げ支える行動**が随所に見られたことでした。

本校が掲げる、**自ら考え、自ら行動できる子ども、みんなでやり遂げる具体的な姿**が見られたことでした。

自信をもち、新しい学年に向かって頑張ってもらいたいと思います。

◎ 6年生ふれあい餅つき大会 2月22日(木)

9時から12時の予定で、PTAと地域主催で6年生とのふれあい餅つき大会を行います。地域の方は早朝から餅つきの準備をしてくださるとのことです。餅つきは伝統的に地域とPTAが6年生への卒業お祝い行事として行ってきたものです。6年生だけでなく、**全校児童にもお餅のプレゼントがある**そうです。ありがたいことです。

(必ず加熱して食べるようにしてください)

もし、当日6年生の保護者の方でお手伝いできる方は参加をお願いします。

今回使われるもち米代、材料費等はすべてPTA会費から賄われるそうです。また、卒業生全員に渡される卒業記念品、胸章、また、社会見学費以外の見学費や交通費、体験に必要な活動費もPTA会費から捻出しています。感謝申し上げます。ありがとうございます。

◎ お別れ集会 3月1日(金)

今年は、久々に体育館に全員が集まりお別れ集会を行います。現在5年生が企画、運営して全校児童に呼びかけ、楽しい集会になるよう頑張っています。児童主体のオリジナルの集会が行われることを期待しています。

永犬丸小学校の集会や終業式、始業式では、用意された原稿を読むだけではなく、**その場で感じた感想や、新たに決意した目標等を聞く**ようにしています。

各学年の前で「言える人いますか」と聞くと以前は手が上がらなかったのですが、**段々と上がる手の数も増え、学校目標に即した考えを述べる子も増えて**きました。

日頃から子どもに感想や考えを聞く活動を増やして、子どもに力をつけていきたいと思います。

◎ 4年生エアロビクス動画発表会 2023 最優秀賞

日本エアロビクス連盟主催、スポーツ庁後援のエアロビクス集団のダンスに応募した**4年生のダンスが、全国最優秀の賞を獲得**しました。本校全学年へのダンス指導にご支援いただいている中元先生ご指導ありがとうございました。4年生のみなさん誠におめでとうございます。

表彰や動画等の発表については改めてお知らせします。

◎ 全国ソニー子ども科学研究論文 奨励賞受賞

本校理科教育の取組みについて理科主任がまとめ、応募した論文が全国の賞を受けました。

ソニー教育財団のホームページにも掲載されています。

https://www.sony-ef.or.jp/program/result_school.html

◎ 生活がんばりカードお礼

冬休みの生活がんばりカードの取組ありがとうございました。すべてのカードを読ませていただきましたが、**ご家庭で子どもたちと共に、様々な体験や出会いを創り出していただいたことが伝わってきました。**すごいです。

また、**家族との団らんや、大掃除を一緒にした思い出、子どもたちがお手伝いに取り組んだことなど、ご家庭での取組が素晴らしいと感じました。**ありがとうございました。

◎ 1年生昔遊び 1月15日(月)

地域のおじいちゃん、おばあちゃんが子どもたちのために竹トンボやお手玉、コマ回しや紙飛行機まで教えていただきました。ありがとうございました。

◎ 新一年生入学説明会 1月23日(火)

入学予定68名の子どもたちが、2年生と一緒に体験活動を行いました。現1年生の子どもたちが、お兄さんお姉さんになってナビゲートする姿が頼もしかったです。

◎ 6年生米国の小学生とオンライン交流 1月末

米国(シアトル)のホストファミリーのご協力で、お子様4人と永犬丸小学校の各クラスとをライブでつなぎ、**アメリカと日本の文化や学校生活を言語や写真で紹介しあうオンライン交流**を行いました。英語でクイズを出題するなど言葉の壁を越えた交流が見られました。

米国の給食はピザやポテトであることやポケモンやマイクラフトなど日本のゲームが流行っていること、スポーツは近くのジムに行き習っていることなどが分かりました。

「根拠のない自信」をつける

～強く生きていくための大切な力～

加藤紀子 子育てベスト100「最先端の新常識×子どもに一番大事なこと」ダイヤモンド社

本校は、学習参観で見られたように、いわゆるコミュカをつけることを大きな目標としています。コミュカは「根拠のない自信」が役に立ちます。

コミュニケーションが苦手だと感じるのは、自分に自信がもてないことも原因のひとつです。人は自分に自信がなければ、相手に拒否されて傷つくことを恐れ、人づきあいを避けようとしてしまいます。子どもも同じです。「自分はこれでいいんだ」と思える子どもは、自信をもって自分の気持ちを表すことができます。

医師で臨床心理士でもある田中茂樹氏は、子どもが親から見て間違っただけを主張してきたときには、それを理屈で否定しようとせず、意見を言えた勇気を認めてやるのが大切だといっています。

■「認められている」実感を与える

人が人として生きていくには、「理由はないけれどもうまくいくような気がする」といった、無条件に自分を信じる力がとても重要です。これは精神医学では「基本的信頼感（ベーシック・トラスト）」と呼ばれています。自分はいつも認められているという実感が、相手との心の壁を取り払い、コミュニケーションへの意欲につながるのです。

～「根拠のない自信」をつけるにはどうすればいい？～

■ありのままを受け入れる

「テストで100点をとった」「かけっこで一番だった」といった具体的な成果をほめるのもよいですが、そこから生まれる自信は根拠に基づいたものです。根拠のある自信は、根拠となる事実が消えるとなくなってしまいます。

根拠のない自信は、そうした条件付きの自信ではなくて、親からありのままを受け入れられ、愛されているという実感から生まれるものです。

■苦手に固執しない

苦手なことをがんばって克服するのは大事なことです。しかし、親が固執しすぎて子どもを追いつめると、自信どころか劣等感ばかり増してしまう可能性があります。

■大人は聞き手にまわる

子どもと話をするときには、親は聞く側にまわります。「そうだったんだ」「わかるよ」という相づちとともに、どのようなことにでも耳を傾けると、子どもは「自由に何を話してもいいんだ」と自信がもてます。

■立ち直る力を育む

子どもは小学校に入るころから自分と他者を比較するようになり、「負けたら悔しい」といった感情をもつようになります。大切なのは負けるとき、落ち込んだときに立ち直る力を身につけることです。

この回復力は、心理学では「レジリエンス」と呼ばれます。子どもが失敗したときも、他の子と比べるのではなく、良い面に注目して「よくがんばったね」「勇気があったね」などと認めてあげると、立ち直る力を伸ばすことができます。

■子どもを信じる

児童青年精神科医の佐々木正美医師は、「子どもは自分を信じてもらうことによって、信じてくれた人を信じます。そして自分が信じられたことによって、自分を信じるができるのです」という言葉を残しています。まずは親が子どもを信じる。そうすれば、子どもは親を信じ、自分を信じることができます。

ありのままがいい

自分を好きになるのは、
とても難しいことだよ。

理由もなく何かを好きになるのは
とても簡単にはいかならぬ。

自分を愛する理由を見つけ出すのは
長所が思い浮かびません。

理由を探るといつか下すし。
理由なんてない大丈夫。

いちばん美しいのは…
ありのままの姿だから。

自分以外の誰かが幸せに見てる日
そんな日はきっと、必死に強く
心を癒すおまじないを
唱えてみたら。

私はありのままがいい
by 田中茂樹 抜粋

